

是正処置回答書

(JARI-RB 提出用)

受審組織 名		適用規格	<input type="checkbox"/> ISO 14001 <input type="checkbox"/> ISO 9001 <input type="checkbox"/> ISO 39001 <input type="checkbox"/> ISO 45001
-----------	--	------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

1. 指摘事項の内容：(指摘書 No:)

(区分： メジャーNC (是正完了)、マイナーNC (是正計画)：該当する方に□を入れてください。

審査指摘書の指摘区分と概要及び
指摘書 No.をコピーして下さい。

2. NC の発生状況(影響度、頻度、同様の NC の発生状況)

NC 調査をした結果、

- NC はこの事例のみの事象なのか、この事例以外にも同様の NC が検出されたのか
- 突発的発生なのか定常的に起こっていたのか
- 発生による環境または品質への影響度合いなどを考慮の上ご記入下さい。

3. NC の他部門、他拠点等への影響(NC が該当するか) □有 □無 :

NC が他の部門・拠点にも該当し水平的な是正展開の必要有無を考慮の上ご記入下さい。

4. 修正処置 (NC の解消のための処置) :

NC が他部門、他拠点に該当しない場合は、"無" にチェックの上、その根拠をご記入ください。

発生した NC 現象自体を、適合状態にするために
とった処置内容をご記入ください。

(例：○○を再度確認した。 △△を追加した。)

5. NC となった根本原因：

NC の根本原因是、2. NC 発生状況とは異なります。なぜ、その NC が発生してしまったのか、プロセスを遡って(時系列的に捉え)原因を深くかつ広く掘り下げ、再発防止が期待できる根本原因をご記入ください。なお、原因は1つだけとは限りません。その場合は箇条書きにしてください。

6. 是正処置／計画 (NC 発生原因の除去＝再発防止の処置) の内容

(注1：メジャーNC の場合は是正処置結果を、マイナーNC の場合は是正処置内容とその実施計画を記載)

(注2：3 項で“有”とした場合は他部門、他拠点等の是正処置状況を含めて記載)

(注3：修正処置のみで再発防止につながる場合、是正処置が不要である根拠を記載)

是正処置を完了した場合：NC の根本原因が取り除かれ、再発防止につながる処置を実施した後にその実施内容を記入してください。

是正計画の策定の場合：実施する是正処置内容とその実施計画を記入してください。

※添付資料がある場合は、以下の点を記載ください。

- 資料名が識別できるようにしてください。(別紙1参照、等)
- 改善の前後を比較対照した形で表現してください。
- 具体的な変更箇所は、アンダーライン等で明確にしてください。(追加部分、変更部分)

責任者署名

処置確認

是正処置が適正であることを確認しました。

是直筆署名をお願いいたします。

是パソコン印字は不可です。

(実施予定期 年 月 日頃)

審査チームリーダー

年 月 日